

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清字

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 西川豊長
幹事 中山信夫
会報委員長 西尾正巳

No. 5

築け未来を 行動力と先見の眼で

BUILD THE FUTURE WITH ACTION AND VISION

1996~97年度 RI会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ

きょうの例会

第676回 平成8年8月6日(火)

夫人同伴夜間例会 (於: 松楓閣)

先週の記録

第675回 平成8年7月30日(火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇ 今週のお誕生日祝福

笹野君(7/30)、河村君(8/6)、松島君(8/10)

◇ 出席報告

会員 70(69)名 出席 48名

出席率 69.57%

前々回 7月16日(修正出席率) 98.53%

◇ ビジター紹介 3名

◇ ニコボックス

紙面の都合により次回掲載させていただきます。

◇ 中山幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。
2. ガバナーよりアジア地域大会10/25~27日3日間タイバングクの御案内が来ておりますので、参加希望の方は、事務局迄お申し込み下さい。
3. 次回例会は、夫人同伴夜間例会で午後6時より松楓閣にて開催致しますので、昼間の例会はございません。
当日は、堅苦しい例会ではなく楽しく寛いで頂きたく、是非皆様浴衣でお越し下さい。
4. ロータリーの友8月号が来て居りますので、お帰りにお持ち下さい。

◇ バナー紹介

倉敷RC 山本 眞輔君

◇ 西川会長挨拶

前回7月23日の例会は、ガバナー公式訪問

がございましたが、唯今中山幹事からお礼申し上げましたように、お蔭様で理事、役員、各委員長ら会員の皆様の御協力により無事滞りなく終ることができました。何分にも年度早々の公式訪問でありましたので、ご苦労も又一人であったことを思いまして、ここに改めて厚くお礼申し上げる次第でございます。

前回例会に引続き、クラブアSEMBリー(クラブ協議会)がございました。松本宏ガバナー、古川善次郎名古屋第二分区代理、山田達地区副幹事の出席を得て、当クラブから会長幹事ら理事、役員、各委員長が出席して、クラブ計画書に基づき、クラブの状況報告がなされました。最後のガバナー講評では、千種ロータリークラブは、創立十年余り経って、よくバランスのとれたしっかりしたクラブであり、クラブの運営も都会的でスマートなクラブであるという印象を受けたということでありました。クラブのカラーというものは、我々クラブメンバー自身よりは、むしろ外から見られて、「ああ、そうだったのかな。」と気付くこともあるのですが、私共もこの十数年の歴史と伝統によって築き上げられたクラブカラーを受け継いで、これを汚すことなく、更に一層輝かしいものになるよう努めまして、次の代に引き継いでゆきたいものと思います。

折しもアトランタオリンピックはたけなわで、面白くなってきました。ついテレビを見てしまって、夜更かしをしてしまい、睡眠不足の方も居られると思いますが、お互い仕事をよそに昼寝もしておられない世の中でありませう。酷暑の折柄、健康にはお気を付け下さい。私もお蔭様でなんとか健康を維持しております。色々助けて下さる方々、皆様のお蔭と感謝申し上げます。

春は花 夏ほととぎす 秋は月 冬雪さえて 冷しかりけり 道元禅師

この歌は、ご承知の方もありますが、文豪川端康成氏が、ノーベル賞受賞記念講演

会の冒頭で引用され、一躍有名になったものであります。この歌は「本来の面目」という題で詠まれたものでありまして、「本来」というのは、佛とか、神とか、真如、空などというでもいいといわれています。「面目」というのは、姿、形、内容という意味だといわれます。つまり、佛さまの姿や中身が春夏秋冬であり、華開落葉、生老病死だというのであります。この私の体、人生、この天地が佛のお姿であり、中身であるというのであります。そこで、私共もこの歌の心で、ロータリー活動やロータリー精神を考えてみたら、どんなものでしょうか。私は、とにかくロータリーの諸々の活動や行事に身をもって参加することにより、その姿や中身がおのずから判ってくるのではないかと、と思います。

◇国際大会（カルガリー）報告

直前会長 鈴木 正男君

私は、去る6月23日から26日迄、カナダ、アルバータ州、カルガリーのカナディアン航空ザドルドームとスタンビード・パークを会場として開催された第87回国際ロータリー年次大会に初めて参加してきました。勿論、参加してきたと申しましても、参加ツアーの時間的制約から、6月23日の第1回本会議及び大会開会式に出席したのみで、それも途中で退場しましたので、十分なご報告ができなくて申し訳なく思います。そこで、本大会の模様の詳細については、毎年ロータリーの友に掲載されますので、それに譲らせて頂いて、本日は、私が当日会場に於て、この眼、この耳で触れた第1回本会議及び開会式の模様をそのままお伝えして、皆さまに少しでも当日の大会の雰囲気を感じて頂ければと思います。スライドと録音テープを準備してまいりました。

実は、何れも最初から計画したものではなく、もしやと思った録音テープが、何とか入っておりましたので、帰ってから思いついて、約23分に編集し、スライドもその為に準備したものです。お見苦しい点はお許し下さい。では、上映しながら適宜ご報告を加えさせて頂きます。

本大会は、参加者が多く（126ヶ国から登録者数24691名、日本からは、約4200人、米国、カナダに次いで3位の多数にのぼった）2回に分けて行われました。私達は、当日登録受付で、第2回目（20.00～22.30）の入場指定と判明した為、宿泊地（カルガリーより約2時間行程のバンフ）の関係から、相談の結果、無理矢理に、第1回（15.30～18.00）に強行入場をしました。お蔭で座席は正面舞台も殆ど見えない席で、残念乍ら止むを得ないことでした。定刻、先ずハーバート・G・ブラウン会長のテーマを祝賀するLet There Be Peace on Earthと呼ぶ前奏番組をもって開幕しました。

今年4才になる天才ピアニスト、ウエスリー・チュの演奏に始まり、カナダ子供の世界合唱団、歌手、踊子、スケーター、集団が出演の約8分間にわたる素晴らしい舞台が展開されました。

次いで、開会宣言、歓迎の辞、お祈りの言葉と大会プログラムの採択、ロータリー加盟国の国旗入場式、これは大会史上、初めて氷の上を、カルガリー・アイス・スケート団のメンバーが旗手となって入場しました。次いで、ホスト国、カナダの国歌演奏、会長出身国、米国の国歌演奏、カルガリー聖火果に点灯、視聴覚番組としてカナダのロータリー史のテレビ上映……と続いたところで私達は会場を退席した為、ハーバート・G・ブラウンRI会長の歓迎の辞を聴くことができませんでした。

然し、大会前日発行のカルガリー地元新聞The Calgary Sunのロータリー特集号に、ブラウン会長の歓迎の言葉が掲載されておりましたので、その要旨をご報告します。

「この大会が、世界の何処で開催されても、常に会場に溢れているのは、ロータリーの基盤である会員同士の親睦です。

年次大会は、国境を超え、文化の相違を克服して、その年の出来事を話し合い、旧友との再会を楽しみ、新しい友情を結び合う会合です。私達は、全世界にわかる家族をなし、この大会は、その大家族の懇親会とも言えます。

カルガリーでの毎日が、感激と親睦に溢れた日々となりますようお祈り申しあげます。」

最後になりましたが、今回の年次大会参加ツアーは、名古屋名北RCさんからお誘いを頂いた形で、当クラブと合同ツアーを組み、当クラブから、私と釜谷君、小林君が夫々家族同伴で、名北RCさんからの参加者11名（内同伴4名）合計18名編成のツアーで、大変楽しく、素晴らしい体験をさせていただきました。

名北RCさんには、私達参加者6名は何かとお世話になり感謝いたしております。

当紙面を借りて、厚く御礼を申しあげます。



ナイアガラの滝をバックに参加者全員で記念撮影、お疲れ様でした。

◇7月度理事会議題

1. 他クラブ記念祝賀会のご祝儀の件

◇次回例会（8月20日）

友愛の日（立食） 創立14周年例会